

日 時	平成 24 年 10 月 5 日(金) 18:30~20:00
場 所	和歌山市 NPO・ボランティアサロン (寄合町)
参加メンバー (敬称略・順不同)	笹尾恭子 橋本雅史 湯川和俊 鈴木裕範 山本智子 平原佳和 川口充紀 田中恵美 川島寛子 計 9 名 (終了後かけつけてくれたメンバー) 玉井寛章 和歌山大学公認サークル“こんぱす”メンバー松田・中家 計 3 名
議 案	1 橋本副代表からの提案 2 小田原城のバリアフリーの取り組みについての報告 3 会計報告 4 年度途中から会員希望者の会費徴収対応について 4 「わかやま地元力応援基金」参加について 5 第 2 回和歌山城勉強会 (講師 水島大二先生) の日程について 6 鈴木教授ゼミ生による忍者衣装での調査について (場所は和歌山城内) 進行 橋本 (順序は若干異なっています)

【議案 1 について】 橋本副代表からの提案

定例会で、お城に関することや、自分の活動についてそれぞれが発表していくのはどうか。
今回定例会参加者の賛成により決定。次回から行う。1 回目は川島が担当。

【議案 2 について】 小田原城のバリアフリーの取り組みについての報告

本年 9 月に小田原城を見学した川島より写真にて報告。
(その写真を今回議事録に添付していますのでご覧ください。)

【議案 3 について】 会計報告等を事務局よりおこなう

銀行口座のハンコとキャッシュカードを水城監査 (水城会計事務所) に預かってもらった事を報告。
会費の入金のため通帳のみ事務局で管理。また同事務所で小口現金出納帳のチェック、正・賛助会員数と通帳の入金額の確認をお願いし確認後の数字を定例会で報告する。
(会員情報 (氏名と会費額のみ記入) と小口現金出納帳の閲覧希望の方は個別にお送りしますので事務局川島までご連絡ください。)

【議案 4 について】 年度途中から会員希望者の会費徴収対応について

年度途中からの入会希望者について、会費の減額は行わない。
正会員希望の場合、その希望日が年度の半分以上経っている時は賛助会員として入会し来年度正会員として入ってもらう方法があることを伝えるなどで対処する。

【議案 4 について】 「わかやま地元力応援基金」参加について

会としてではなく、メンバーの有志から 1,000 円づつ募り「和歌山城から始めよう！みんなにやさしい和歌山をつくる会有志」として登録する。
募る期間は来年 1 月末程度を予定。
募る方法は定例会や新年会などメンバーが集まる時や勉強会の案内送付時に参加を呼びかける。
参加の案内文は川口さんが作成。

【議案 5 について】 第 2 回和歌山城勉強会（講師 水島大二先生）の日程について
事務局が水島先生と連絡。次の日時に決定。

11 月 24 日（土）10 時集合。集合場所は未定。（改めて連絡あり）

【議案 6 について】 鈴木教授ゼミ生による忍者衣装での調査について（場所は和歌山城内）

「11 月 4 日（日）10:00 から 15:00 まで 鈴木教授ゼミ生（9 名程度参加予定）が忍者衣装で来城者へのアンケートや挨拶などを実施することになりました。アンケートのたたき台を湯川さんにお問い合わせしています。皆様からもこんなことを聞き取ってほしいというアンケートの項目を募っています。ご協力お願いいたします。」

（この企画に至るまでの経過）

城プロジェクト（代表は当会事務局担当の川島）が市の委託を受けて行っている事業におもてなし向上事業「忍者と一緒に和歌山城」がある。忍者衣装での登城サポートの他、道案内や城内美化、写真撮影のお手伝いなどを実施しているが、まだまだ改善の余地があるにもかかわらず忍者衣装の効果は大きく、観光都市和歌山のシンボルであるお城の活性化にもっと活かせる方法はないかと思っている。そしてこの効果の実感を和歌山大学の観光学部の学生に生きた観光学として、経済学部の学生には効果の具体案化を考え学んでほしいと思っていることを鈴木教授に伝えたところ、「ゼミ生に体験させましょう。学生にその意義をわかって参加してもらうために事前説明にきてほしい。」と快諾・即断。また「感じるという主感的なことだけでなく、なにか“みんなにやさしい和歌山をつくる会”に役に立つようなアンケートをとってはどうか」との提案をいただく。

次回定例会は 11 月 日（金）NPO ボランティアサロン（寄合町）18:30～です

理事の皆様には上記内容の承認をお願いいたします。